

授業計画（シラバス）

教育内容	専門分野 小児看護学				
科目名	小児看護学方法論 I	対象学年	2 年生		
単位（時間数）	1 単位（32 時間）	講義時間	30 時間	試験時間	2 時間
講師名	外来講師	実務経験	臨床医師／大学講師		
学習目標	1) 子どもの健康障害の特徴を理解する 2) 健康障害が子どもの成長発達に与える影響及び、子どもと家族に与える影響について理解する 3) 健康障害をもつ子どもとその家族に対する看護について考える				

回数	単元・授業内容	授業形態	担当	使用教材
1	染色体異常と看護 (常染色体異常：ダウン症候群、18 トリソミー 性染色体異常：ターナー症候群など)	講義	外来講師	系統看護学 講座「小児 臨床看護各 論」(医学 書院)
2	先天性疾患と看護 (鎖肛、口唇口蓋裂、食道閉鎖、 心疾患：ファロー四徴症・心室中隔欠損症・ 心房中隔欠損症・完全大血管転位症 二分脊椎、股関節脱臼など)	講義	〃	
3	代謝性疾患と看護 (新生児マススクリーニング、1 型糖尿病など)	講義	〃	
4	免疫疾患・アレルギー疾患と看護 (食物アレルギー、アトピー、気管支喘息など)	講義	〃	
5、6	感染症と看護 呼吸器：気管支炎・細気管支炎・肺炎・クルー プ 消化器：嘔吐下痢症 ウイルス（麻疹・風疹・突発性発疹・水痘 手足口病・流行性耳下腺炎・RS・ ノロ・ロタなど） 細菌（百日咳・病原性大腸菌感染症など） *合併症：中耳炎・髄膜炎・脳炎など	講義	〃	
7	後天性循環器疾患と看護（川崎病、心筋炎など） 腎・泌尿器と看護	講義	〃	

授業計画（シラバス）

	(腎炎、ネフローゼ症候群など)			
8	血液・造血器疾患と看護 (小児に多い貧血・血友病・特発性血症板減少症など) 悪性新生物と看護 (脳腫瘍・ウイルス腫瘍・ 急性リンパ性白血病など)	講義	〃	
9	神経疾患と看護 (てんかん・熱性けいれん・脳性まひ・ 重要心身障害児・在宅医療など)	講義	〃	
10	運動器疾患と看護 (脊柱側弯症・骨折など)	講義	〃	
11	事故・外傷と看護 (頭部外傷・誤飲誤嚥・溺水・ 熱傷・熱中症など)	講義	〃	
12	現代社会における小児の心の問題とその対応	講義	外来講師	資料
13、14	発達障害について (知的能力障害、自閉スペクトラム症、 高機能自閉症、アスペルガー症候群、 限局的学習症、注意欠如・多動症など)	講義	〃	
15	心の問題のある子どもの看護 (不登校・神経症・P T S Dなど)	講義	〃	
教科書	系統看護学講座「小児臨床看護各論」(医学書院)			
参考図書				
評価方法	終講試験(外来講師の範囲より)			